



陸前高田市  
City of RIKUZENTAKATA

プレスリリース

令和4年3月1日  
建設部都市計画課

## 奇跡の一本松の根の東京展示について

先日道の駅「高田松原」で展示した奇跡の一本松の根ですが、東京での展示について主催者側から情報提供がありましたので、ご案内します。詳しくは別添資料に記載のウェブサイトをご確認ください。

担当 都市計画課計画係 永山  
TEL 0192(54)2111(内線436)/FAX 0192(54)3888  
E-mail [tosikei@city.rikuzentakata.iwate.jp](mailto:tosikei@city.rikuzentakata.iwate.jp)



メディア関係各位

ご関係の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
この度、3月11日より紀尾井清堂に於いて「奇跡の一本松の根」展を開催する運びとなりましたので、ご案内申し上げます。

#### 開催概要

<https://www.rinri-jpn.or.jp/news/16815/>

※リンク先に予約サイトの URL がありますが、倫理研究所の会員向けに先行して情報公開しておりますので、一般への情報開示は3/1からにして頂けると幸いです。

問合せ先 内藤廣建築設計事務所 担当・小田切 otagiri@naitoaa.co.jp  
tel : 03-3262-9636



東日本大震災から十年が経過し、復興のハードウェア整備が概成しつつあることもあって、人々の被災の記憶は薄らいできています。とくに都市部に於いてはあの悲惨な風景はすでに過去のものになっています。

今や震災復興のシンボルの一つともなった「奇跡の一本松」の根は、現在は人目に触れず陸前高田市で分割されて保管されたままになっています。それを倉庫で組み立ててみると、予想以上にその生命力の強さを姿形として実感することができました。この根には、「生きることの雄々しさ」が直截に現れており、何物にも代え難い、さらにはいかなる芸術も及ばない「訴える力」がある、と感じました。

建物を建ててから使い方を決めて行く、という倫理研究所からの依頼を受け、特定の機能を持たず、さまざまな企画を許容し自由に使える建物「紀尾井清堂」を完成させました。とくに一階部分は街に開かれたギャラリーになっています。当面ここをどのように使うか建て主とともに思案していました。陸前高田市にお願いした上で、この根を一定期間貸していただき展示してはどうか、と提案して賛同していただきました。

この根が与える強い存在感と生命力は、都会で暮らす人々に大きな感銘を与えると同時に、遠くなりつつある被災地に思いを馳せる動機付けにもなるはずです。それは災害が多発するわたしたちの日常へも資するものと考えます。明日を生きることへの糧として、この根を多くの方に見ていただきたいと思っています。

建築家 内藤 廣